

◆◆◆ 今年の夏は・・・

今年の夏はえらく暑い日が続いたように感じた。ここのところ夏というと 35℃を超える日が多くなっているように思うが、昔は 33℃でとても暑いと感じたように記憶している。今年の夏は梅雨明けが遅れ、猛暑となったのは8月になってからということもあって、過ごしやすかった7月に比較して、8月の猛暑がひときわ暑く感じられたのだろうか。

そこで、実際に東京管区気象台のデータからここ 20 年の日最高気温の最高値と 30℃以上の日数、日最低気温の最高値と 25℃以上の日数をグラフにしてみた。

日最高気温の最高値は昨年、一昨年に比べると 1℃以上高い 37.5℃であるが、2004年の 39.5℃よりも低くなっている。また、30℃以上の日数は 52 日と、昨年の 38 日を上回っているが、2004年の 70 日には及ばない結果となっている。まだ9月半ばなので、まだ何とも言えないところであるが・・・。

もう少し長期的な視点で見ると、確かに、日最高気温、日最低気温の最高値ともに 1987年からじわじわと高くなり続けており、それぞれ日最高気温 30℃以上の日数、日最低気温 25℃以上の日数ともに大局的には増加の傾向となっている。しかしながら、とりたてて今年の東京の夏が異常に暑かったということはなさそうである。やはり暑さに対する感覚的な要因も大きいのだろうか。身体が暑さに対して十分に慣れないうちに猛暑がやってきたためにことさら暑く感じられたと言うのが本当のところかもしれない。

まあ、今更ながらでもないが、空調のきいた部屋にいるのは身体のためによくないことだけは身にしみて感じる歳になったということかもしれない。

(基)

